

知多半島地域流域治水プロジェクト【位置図】

愛知県

～愛知県と世界を結ぶ空の玄関と知多半島の「くらしと産業」を水災害から守る流域治水対策～

- 知多半島は、北部には工業団地と住宅地が広がり、中央には中部国際空港を抱え、そして南部は県下随一の観光地として発展している。半島中央の緩やかな丘陵地から流れる中小河川沿いの市街地では、洪水による被害を繰り返し受け、特に東海豪雨においては、甚大な被害が生じた。また、伊勢湾口に突き出る地形から、湾口からの津波到達時間が短いといった特徴を持った、水害リスクの高い地域である。
- このため、築堤・護岸整備や地震・津波対策と併せた河川整備や海岸保全施設の整備、貯留浸透施設による流出抑制対策、雨水排水網整備による内水被害軽減対策などのハード対策と、ハザードマップの作成や防災訓練の実施などのソフト対策を合わせて実施する。
- これらの取組により、河川整備計画で定めた洪水に対する治水安全度を確保し、地域における浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・築堤・護岸整備、河床掘削、橋梁改築、堤防耐震対策、樋門改築、高潮対策、遊水地整備、海岸保全施設の整備及び老朽化対策等
- ・砂防関係施設整備
- ・流出抑制対策
(雨水貯留浸透施設の整備、雨水貯留浸透施設設置補助 等)
- ・内水被害軽減対策
(雨水排水網の整備、ポンプ場の老朽化対策 等)

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
(立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクの低い地域への居住誘導、土砂災害警戒区域の指定 等)

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・被害軽減対策
(要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成推進と避難の実効性確保、ハザードマップの作成・公表 等)
- ・住民の主体的な避難行動を促す取組
(防災教育の実施、「みずから守るプログラム」の普及促進等)
- ・ソフト対策のためのハード整備 (水害リスク情報の空白域の解消 等)

愛知県(砂防課)

- 砂防関係施設整備
- 土砂災害警戒区域等の指定
- 土砂災害関連情報配信

東海市

- 雨水貯留浸透施設費補助
- 立地適正化計画の改定
- ハザードマップの更新・啓発

知多市

- 維持浚渫
- 雨水排水網の整備
- 立地適正化計画の改定
- ハザードマップの作成・啓発
- 防災教育の実施

常滑市

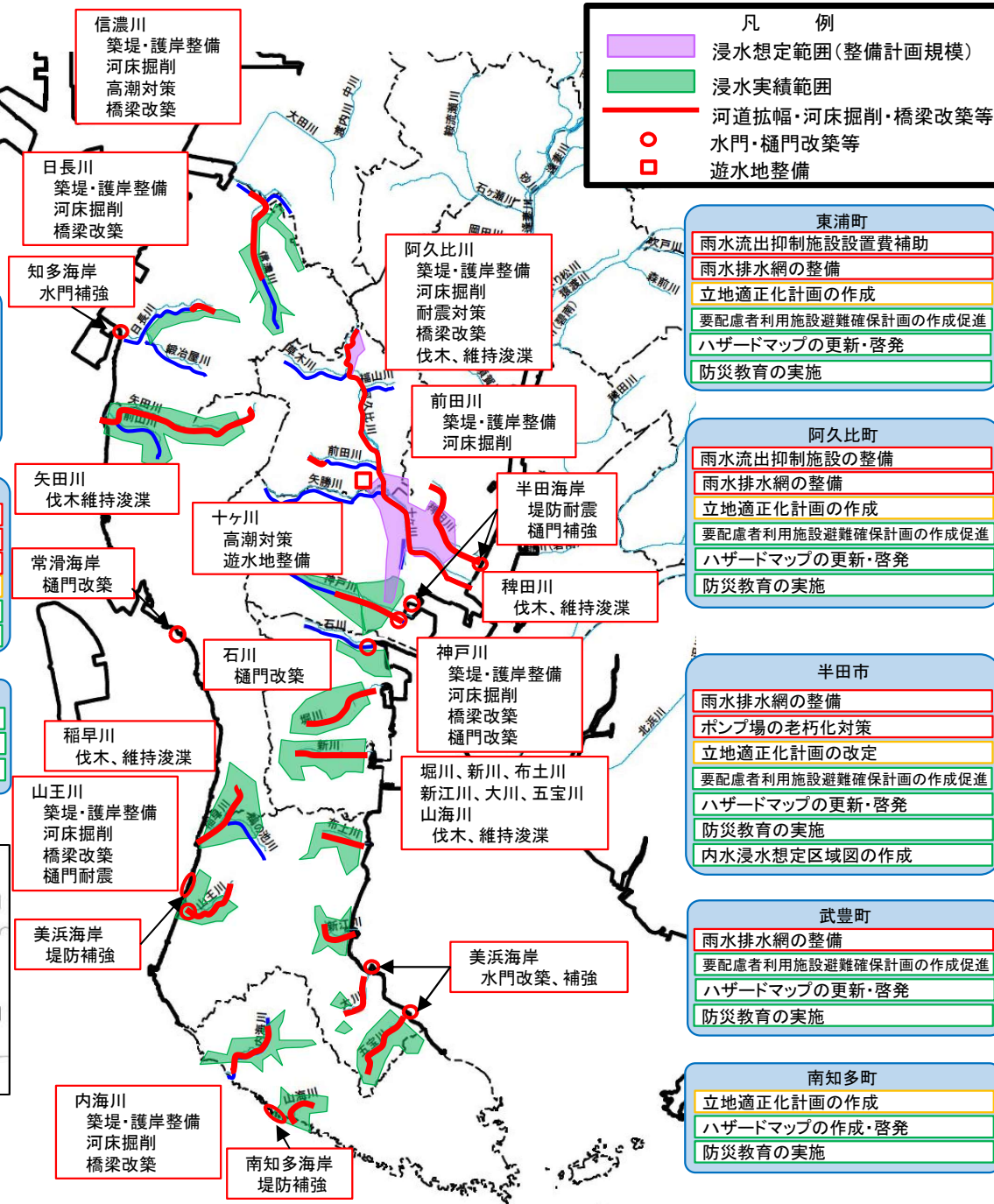
- 雨水排水網の整備
- ポンプ場の老朽化対策
- 下水路・調整池の浚渫
- 立地適正化計画の作成
- ハザードマップの更新・啓発
- 防災教育の実施

美浜町

- ハザードマップの作成・啓発
- 樋門の点検、操作訓練
- 防災教育の実施



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



凡 例

- 浸水想定範囲(整備計画規模)
- 浸水実績範囲
- 河道拡幅・河床掘削・橋梁改築等
- 水門・樋門改築等
- 遊水地整備

東浦町

- 雨水流出抑制施設設置費補助
- 雨水排水網の整備
- 立地適正化計画の作成
- 要配慮者利用施設避難確保計画の作成促進
- ハザードマップの更新・啓発
- 防災教育の実施

阿久比町

- 雨水流出抑制施設の整備
- 雨水排水網の整備
- 立地適正化計画の作成
- 要配慮者利用施設避難確保計画の作成促進
- ハザードマップの更新・啓発
- 防災教育の実施

半田市

- 雨水排水網の整備
- ポンプ場の老朽化対策
- 立地適正化計画の改定
- 要配慮者利用施設避難確保計画の作成促進
- ハザードマップの更新・啓発
- 防災教育の実施
- 内水浸水想定区域図の作成

武豊町

- 雨水排水網の整備
- 要配慮者利用施設避難確保計画の作成促進
- ハザードマップの更新・啓発
- 防災教育の実施

南知多町

- 立地適正化計画の作成
- ハザードマップの作成・啓発
- 防災教育の実施

知多半島地域流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～愛知県と世界を結ぶ空の玄関と知多半島の「くらしと産業」を水災害から守る流域治水対策～

知多半島では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】(概ね5年間)

- ・氾濫を防ぎ減らす対策として、下流部の堤防や樋門の耐震対策、中下流域の築堤・護岸整備などの河川整備、及び雨水貯留浸透施設の整備などの流出抑制対策、雨水排水網の整備などの内水被害軽減対策を進め、中下流域の浸水深、浸水面積の軽減を図る。
- ・被害を減少させるための対策として、立地適正化計画への防災指針の位置づけについての検討を行う。
- ・被害の軽減、早期復旧のための対策として、要配慮者利用施設避難確保計画の作成促進や「みずから守るプログラム」などの取組及び水害リスク情報の空白域の解消として2級水系における浸水想定区域の公表を行う。

【中期】(概ね10年から15年間)

- ・堤防や樋門の耐震対策を完了し、短期に引き続き、築堤・護岸整備、河床掘削などの河川整備や雨水排水網の整備及び雨水貯留浸透施設の整備を進め、中下流域の浸水深、浸水面積の軽減を図るとともに、水害リスクの低い地域の誘導や、ハザードマップの作成・啓発、防災訓練を実施する。

【中長期】(概ね20年から30年間)

- ・さらに、中上流域での河川整備を進め、流域全体での浸水被害解消を図るとともに、引き続き、被害対象を減少させるための対策、被害の軽減、早期復旧のための対策により、流域全体の治水安全度の向上を図る。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※各対策における旗揚げは、代表的な市町村名を記載

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ・減らすための対策	築堤・護岸整備、河床掘削、橋梁改築 等	県	[Red Arrow]		
	堤防耐震対策	県	阿久比川耐震完了(県)	半田海岸等 耐震完了(県)	
	樋門改築・耐震対策	県	神戸川樋門改築完了(県) 山王川樋門耐震完了(県)		石川樋門等 改築完了(県)
	雨水排水網の整備	市町	雨水排水網の整備(知多市)		
	雨水貯留浸透施設の整備 等	市町	雨水貯留浸透施設費補助(東海市、東浦町)		
	ポンプ場の老朽化対策	市	ポンプ場の老朽化対策(半田市、常滑市)		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の作成 等	市町	立地適正化計画への防災指針の位置づけ等検討	水害リスクの低い地域への居住誘導	
			避難確保計画の作成促進(阿久比町)(武豊町)	避難訓練の実施	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	要配慮者利用施設避難確保計画の作成促進	市町	防災教育の実施		
	防災教育の実施	市町	ハザードマップの作成(美浜町)(南知多町)		
	ハザードマップの作成・啓発 等	市町	ハザードマップの更新・啓発		
	「みずから守るプログラム」普及推進 等	県、市町	「みずから守るプログラム」普及促進(県)		
	水害リスク情報の空白域の解消	県、市町	2級水系の浸水想定区域の公表(県)		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

【事業費 (R3年度以降の残事業費)】

- 河川対策
全体事業費 約 185億円 ※1
対策内容
(築堤・護岸整備、河床掘削、堤防・樋門耐震対策、橋梁改築、遊水地整備等)
- 下水道対策
全体事業費 約77億円 ※2
対策内容
(ポンプ場の老朽化対策、雨水排水網の整備 等)

※1 河川整備計画の残事業費を記載

※2 各市における下水道事業計画の残事業費を記載